

切目川ダム 定礎式

平成25年6月2日（日）、切目川ダム建設現場（印南町高串）において、定礎式を行いました。

定礎式とは、ダムの本格的な築造に際し、礎石を納めダムの永久堅固と安泰を祈願する式典です。

当日は和歌山県知事、印南町長をはじめ、地元の方々、国、県、町、工事関係者など約280人の出席のもと開催しました。

式は、地元、清流小学校・清流中学校の生徒らによるコーラスで始まり、知事の式辞、町長の挨拶、来賓の祝辞の後、「鎮定（ちんてい）の儀」・「斎饅（いみこて）の儀」・「斎槌（いみつち）の儀」が執り行われました。また、清流小・中学校のみなさんの「願い石」が据え置かれた後、「埋納の儀」にて、バケットからコンクリートが放出されると、くす玉開放、万歳三唱で定礎を祝いました。

これから工事は最盛期を迎えることとなります、安全対策に万全を期して、平成26年度末の完成を目指します。

○「切目川ダム」定礎式

日 時 平成25年 6月 2日（日） 午前10時00分
主 催 和歌山県、印南町
場 所 切目川ダム建設工事現場（日高郡印南町高串地内）
出 席 者 約280人



〈式次第〉

(コーラス：清流小・中学生)

開式の辞

式 辞

挨 拶

来賓祝辞

来賓紹介

祝電披露

定 础

鎮定(ちんてい)の儀

斎鎧(いみこて)の儀

斎槌(いみつち)の儀

願い石の据置

埋納の儀、くす玉開放、万歳三唱

閉式の辞

(餅 ま き)



清流小・中学生によるコーラス



仁坂和歌山県知事 式辞



日裏印南町長 挨拶



鎮定(ちんてい)の儀

基礎を固めるためモルタルを基礎の基礎に入れる儀式
工事を進める道をつけるという意味がある



斎鎧(いみこて)の儀

基礎の周りのモルタルを「こて」で均し固める儀式
鎮定の儀でつけられた道を均すという意味がある



斎槌(いみつち)の儀

「木槌」で基礎石の四隅を打ち据える儀式
斎鎧の儀でつけられた道を更に強固にするという意味がある



願い石の据置(清流小・中学生)



埋納の儀(コンクリート打設)



くす玉開放、万歳三唱



(直後のコンクリート締固めの様子)

〈切目川ダムの概要〉

- ・水系・河川名 二級河川切目川水系切目川
- ・事業箇所 日高郡印南町高串地内
- ・事業期間 平成3年度～平成26年度

・ダムの諸元

形 式：重力式コンクリートダム
 洪水調節方式：自然調節方式
 堤 高： 44.5m
 堤 頂 長： 127.0m
 総貯水容量：396万m³



切目川ダム完成イメージ図



下流からダムサイトを望む(平成25年4月)